

秩父 市議会だより

第24号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (72) 2122
FAX (77) 1010
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



「3月定例会最終日の様子」

3月11日に「東日本大震災」が起こり、秩父市でも震度5弱の地震が発生した影響により、議場が使用できなくなったため、3月17日の定例会最終日は、歴史文化伝承館2階のホールで本会議を開催しました。

地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

午前中は計画停電であったため、発電機とハロゲンライトを使用して本会議を行いました。

3月 定例会

審議した議案等の結果

議案番号	件名	結 果	会派の態度				
			市民 ク	彩 政 会	共 産 党	公 明 党	上林 金崎 新井
第 1 号	市道の認定について 大滝210号線及び大滝211号線の認定	原案可決	○	○	○	○	○
第 2 号	秩父市まちづくり基本条例の一部を改正する条例 条例内容の見直しに伴う条文の整理等、所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○
第 3 号	秩父市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例 地方公務員育児休業法に基づく育児短時間勤務制度の導入等の改正	原案可決	○	○	○	○	○
第 4 号	秩父市立共同調理場条例の一部を改正する条例 北部共同調理場を設置し、尾田蒔小と吉田の共同調理場を廃止する改正	原案可決	○	○	×	○	○ × ○
第 5 号	秩父市臨時駐車場条例 市主催の事業で設置される臨時駐車場の使用料を徴収したいため	原案可決	○	○	○	○	○
第 6 号	秩父市住民生活に光をそそぐ基金条例 国の補正予算で創設された交付金事業を実施するため基金を設置する	原案可決	○	○	○	○	○
第 7 号	平成22年度秩父市一般会計補正予算（第4回） 国の補正予算による交付金事業等の補正措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 8 号	平成22年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算（第3回） 歳入歳出の最終見込額等の補正措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 9 号	平成22年度秩父市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回） 歳入歳出の最終見込額等の補正措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 10 号	平成22年度秩父市介護保険特別会計補正予算（第3回） 歳入歳出の最終見込額等の補正措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 11 号	平成22年度秩父市下水道事業特別会計補正予算（第4回） 下水道センター改築事業費等の補正措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 12 号	平成22年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3回） 歳入歳出の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 13 号	平成22年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第3回） 歳入歳出の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 14 号	平成22年度秩父市駐車場事業特別会計補正予算（第2回） 三峰駐車場改修事業の繰越のための補正措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 15 号	平成22年度秩父市立病院事業会計補正予算（第3回） 最終見込額等の補正措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 16 号	平成23年度秩父市一般会計予算	原案可決	○	○	×	○	○
第 17 号	平成23年度秩父市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○
第 18 号	平成23年度秩父市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○
第 19 号	平成23年度秩父市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○
第 20 号	平成23年度秩父市下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
第 21 号	平成23年度秩父市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
第 22 号	平成23年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
第 23 号	平成23年度秩父市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
第 24 号	平成23年度秩父市駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
第 25 号	平成23年度秩父市水道事業会計予算	原案可決	○	○	×	○	○
第 26 号	平成23年度秩父市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
第 27 号	秩父市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○
第 28 号	秩父市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○
第 29 号	秩父市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○
第 30 号	秩父市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○
第 31 号	秩父市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○

3月 定例会

審議した議案等の結果

議案番号	件名	結 果
第 32 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
第 33 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
第 34 号	秩父市教育委員会委員の任命について	同意
議員提出 第 15 号	公共交通機関のバリアフリー化の更なる推進を求める意見書	原案可決
議員提出 第 16 号	産業廃棄物最終処分場建設反対の決議	原案可決
議 請 第 5 号	産業廃棄物最終処分場建設反対の決議を求める請願 【付託先：生活産業委員会】	採択
市民ク (市民クラブ 9名) 彩政会 (彩 政 会 7名) 共産党 (日本共産党秩父市議団 4名) 公明党 (公 明 党 2名) 個人名 (会派に属さない議員 3名) ※議長は会派人数に含まれていない。		

会派の態度				
市民ク	彩政会	共産党	公明党	上林金崎新井
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

○ 賛成
× 反対

請 願

3月定例会に提出された請願は1件です。生活産業委員会に付託され、慎重審査の結果、上記の表のとおり決定しました。

会派の結成

平成23年4月5日付けで、新井重一郎議員と上林富夫議員による新しい会派「新風」が結成されました。代表者は新井重一郎議員で、経理責任者は上林富夫議員です。

意見書・決議

3月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書1件、決議1件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。

内容については次のとおりです。

公共交通機関のバリアフリー化の更なる推進を求める意見書

- 1 新たな政府目標を早急に定め、地方公共団体、事業者の理解を得るよう周知徹底に努めること。
- 2 市町村によるバリアフリー基本構想の作成が更に進むよう、未作成地域を中心に実効性のある、よりきめ細かい啓発活動を行うこと。
- 3 地方公共団体の財政状況に配慮し、補助等の支援措置を充実すること。
- 4 特に、鉄道駅のホームにおける転落防止効果が期待されるホームドア(可動式ホーム柵)設置に関する補助を充実すること。
- 5 身体障がい者や要介護者など移動制約者の福祉輸送ニーズに対応した福祉タクシーやノンステップバスの普及に努めること。

産業廃棄物最終処分場建設に反対する決議

秩父市議会は、吉田地区において、新たに動きのある産業廃棄物処分場の建設には、地元と共に断固反対することをここに決議する。

附属機関等の委員の選出

各附属機関等の議会選出委員が、次のとおり決定しました。

名 称	選出数	選出者
秩父市地域福祉計画策定委員会	1 人	江田 治雄
秩父市障がい者福祉計画策定委員会	1 人	江田 治雄
秩父市高齢者福祉計画等策定委員会	3 人	五野上茂次
		江田 治雄
		新井 康一

各常任委員会の報告

総務委員会

◆秩父市まちづくり基本条例の一部を改定する条例

◆秩父市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改定する条例

問 育児短時間制度とは。

答 小学校に上がるまでの子を養育するために、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日および時間帯に勤務することができ、制度で、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正により設けられた制度。

◆秩父市住民生活に光をそそぐ基金条例

問 光をそそぐ基金の目的は。

答 国が円高デフレ対応の為に緊急総合経済対策に基づいて、「全国市町村に光をそそぐ交付金」を交付することになった。使い道は「地方消費者行政」「弱者対策及び自立支援」「知の地域づくり」の3分野あり、秩父市は、「弱者対策及び自立支援」に当てるため基金を設置し、事業を実施するものである。

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第4回)所管費目

問 秩父市の中小企業は景気が悪い中で、なぜ法人市民税が増えているのか。

答 法人市民税は、大企業のものが相当のウェイトを占めている。

地元の中小企業の動向とは関係なく、景気が回復してきている大企業の分が影響し増額補正となった。

○以上4件は、原案のとおり可決

◆平成23年度秩父市一般会計予算所管費目

問 新規事業の自治振興事業補助金の使途・金額の変更点は。

答 従前の健康づくり補助金は市民の健康づくりを推進することを目的にしたもので、新設の補助金は、町会が実施する地域の活性化に資する事業や活動、地域の絆づくり事業を支援することで、地域コミュニティの醸成と魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。補助金額の相違は、基本額の3万円はそのまま、世帯加算額1世帯当り1200円から1000円とし、上限額は100万円から90万円とした。

問 消防施設維持管理事業の消防団詰所新築工事はどこか。

答 大野原宮崎地区の詰所。
※総体的に23年度の予算は、例年どおりの予算編成を踏襲している予算である。このような不景気の時期であり、弱者救済を主眼においた予算にシフトすべきである。との立場から反対をする、との意見が出された。

○挙手多数により可決

建設委員会

◆市道の認定(大滝中津川)

問 徒歩で通行する観光客の安全対策は。

答 車止めの設置や一方通行を検討している。

◆秩父市臨時駐車場条例

問 この条例案提出の理由は。

答 芝桜の駐車場料金収入を全て市の歳入とすることにしたため。

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第4回)所管費目

問 「不動産売却収入」の減額補正の理由は。

答 国道拡幅工事に伴う移転者への代替地として用意した土地への希望者がいなかったため。

問 「景観形成事業」の内容は。

答 本町・中町通り拡幅工事に伴い、町並みに合った建物建設に補助している。

◆平成22年度秩父市駐車場事業特別会計補正予算(第2回)

問 三峰駐車場改修の内容は。

答 入り口の拡幅や階段の補修。

◆平成23年度秩父市一般会計予算所管費目

問 「芝桜の丘運営事業」の用地購入費の詳細は。

答 既に供用開始している2724㎡の、丘を下に見た右下の部分を購入する。



大滝中津川現地調査の様子

整備する内容は。

答 プールとテニスコートが整備対象である。

問 御花畑通線と視目坂下交差点整備に関わる用地交渉は。

答 鋭意交渉に当たっているが、非常に厳しい。いっそう努力する。

◆平成23年度秩父市駐車場事業特別会計予算

問 三峰駐車場工事の内容は。

答 スロープ設置、植栽、木の移設、案内板の整備工事である。

○以上6件は、原案のとおり可決

◆平成23年度秩父市水道事業会計予算

問 新年度における石綿管交換作業の予定の長さは。

答 3284mの更新事業予定。
※合併後の水道料金統一で、大幅に値上げされた地域への負担は計り知れないので賛成できない、との意見が出された。

○挙手多数により可決

各常任委員会の報告

生活産業委員会

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第4回)所管費目

◆平成22年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第4回)

◆平成22年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)

◆平成22年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)

○以上4件は原案のとおり可決

◆平成23年度秩父市一般会計予算所管費目

問 市有林立木売却収入に係る場所と立木m当りの単価はいくらか。

答 本庁舎分の材積は40m³、大滝総合支所分の材積は12m³で、m³当りの単価は8千円である。

問 市有林立木売却分収金は、緑のオーナー制度の契約を結んでいるが苦情等はなかったか。

答 当初予定した金額にならないこととお叱りを受けた。

問 住宅リフォーム資金助成金は、年間平均450件の申込があるがこれに対しての予算分は、165件ではないか。

答 21年度は補正し、2回の募集を行い、22年度は応募状況より申請者全員が利用できるように対応。23年度も応募状況を見て協議検討をする。

問 緊急雇用対策費の1時間当たりの人件費はどのくらいで算出しているのか。

答 雇用創出が目的であるので賃金は高くなる。市が直接雇用する場合は、時間単価を千円で見てい

る。また、委託の場合は、業者の相場があるものの一律ではないが千円に近い。
※住民基本台帳ネットワークシステムは使用頻度が少ないのに巨費を投じている。今でも情報漏えい問題が多くあり、個人のプライバシーが保たれない危険が危惧されることで反対である、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成23年度秩父市下水道事業特別会計予算

◆平成23年度秩父市農業集落排水事業特別会計予算

◆平成23年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算

◆平成23年度秩父市公設地方卸売市場特別会計予算

○以上4件は原案のとおり可決

〔請願〕

◆産業廃棄物最終処分場建設反対の決議を求める請願

○採択



産業廃棄物最終処分場建設予定地の現地調査の様子

文教福祉委員会

◆秩父市立共同調理場条例の一部を改正する条例

※給食は本来自校方式であるべきだと考えるので、北部共同調理場に反対してきた。今回の条例改正で、尾田蒔、吉田の調理場を廃止することも含めて反対である、との意見が出された。

※例えば、尾田蒔地区はもともと近い調理場をお願いして、そこから運ぶようにするなど、他にも検討の余地があったと思うので反対である、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第4回)所管費目

問 子宮頸がんの予防接種については、4月を過ぎると残りの接種分は補助対象ではなくなるのか。

答 平成22年度内に1回目の接種を受けた人は、23年度に入っても繰越で補助対象とさせていたため、ただ、希望する人が急増したため、現在はワクチンがない状況である。3月中に接種したい人は、医療機関に予約してもらい、予約した人には保健センターで予約券を出し、その予約券があれば、23年度中に接種を受けても、3回接種全ての補助が受けられるように対応していく。

◆平成22年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

◆平成22年度秩父市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)

◆平成22年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第3回)

◆平成22年度秩父市立病院事業会計補正予算(第3回)

○以上5件は、原案のとおり可決

◆平成23年度秩父市一般会計予算所管費目

問 尾田蒔小学校の改築工事は、仮校舎の使用料が2年間で約2億円かかるようだが、他に対策はなかったのか。

答 仮校舎はもつたいたいという意見もあり、現在の校舎を使用しながら工事を行うことも検討したが、工期が延びると、補助金の関係の問題も出てくる。色々と検討した結果、今回の方法に決定した。

※扶助費が昨年度に比べ減額になっているが、生活保護は社会状況が不安定な中の最後のセーフティネットなので柔軟に対応してもらいたい、との意見が出された。

◆平成23年度秩父市国民健康保険特別会計予算

◆平成23年度秩父市後期高齢者医療特別会計予算

◆平成23年度秩父市介護保険特別会計予算

○以上4件の予算に対して、この予算には賛成できない、との意見が出された。

◆平成23年度秩父市立病院事業会計予算

○原案のとおり可決

特別委員会報告

議会改革特別委員会

議会の組織・運営等に係る調査研究として12月24日・1月11日・2月7日に委員会を開催し、以下の6項目を協議した。

【行政視察のあり方】

視察の内容が市民に理解されておらず、費用の問題、行政視察に対する不要論があることから、行政視察の在り方について協議した。その結果、市民の代表である議員の視野を広め、見識を養うなどの観点からも視察は必要であり、今後実施していくべきとの意見が多数であった。しかし、視察に対する議員の立場と市民との感覚に乖離があるため、「視察の目的と成果報告」をホームページ等に掲載し、説明責任を果たす事とした。今後は委員会で年間の重点テーマを設定し、真に必要とされる視察であるかを十分議論して実施する。

【議員定数について】

各委員の意見として、「議会を何人の議員で構成するのか、それはなぜか。」「議会存在の基本問題である。議員が減れば住民意識を反映できなくなり、執行機関の監視機能も低下する。理念なき削減は、限界なき削減の恐れを感じる。根拠に基づかない定数削減に対する結論は出せない。」「議員自らできることは、定数の削減だ。必要な定数、背景とか根拠も必要だが市民の思いに応えなければならな

い結論を出すことが必要。議会が市民に示せる姿は、まず率先して、議員定数の削減のスタンスを示すべきである。」「議員報酬・議員定数の削減を市民は求めているので、議員定数の大幅な削減が望ましい。定数削減は、全国的な流れで秩父市でも『市民から20人以下に削減』との請願が出され、不採択となったが、出来る限り少ない定数がよい。」「議員1人当たりの人口順位は、県内40市中、秩父市が40位。今の26人から削減する決心をすべきである。」「削減することは、秩父市議会でも否定できない。3月定例会で報告すべきである。」「等の、『結論を出すべき』との意見が多数を占め、また『秩父市の適正な議員定数は21人から23人』との意見が多数であった。なお、まだ、議論する余地があり、結論を出すべきではないとの意見も出された。

【議会基本条例について】

先進地の条例を参考にしながら開かれた議会を目指し、制定に向け協議していく事となった。

他の協議事項

【議長公用車】【夜間・休日等時間外の議会開催】【二般質問】委員の交代

3月17日付けで、宮田勝雄委員に変わり、落合芳樹議員が、議会改革特別委員会の委員に就任した。

市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会

前回の議会だよりで報告したとおり、平成22年12月議会で、議員提出議案により、市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会が設置され、委員会は各会派からなる8人の委員で構成、12月15日の第1回委員会で年末年始にかけて、集中的に委員会を開催する日程とともに、最優先に協議する項目について、市役所本庁舎及び市民会館の「耐震性」と建設する場合の「財務状況」「建設予定場所」の3項目とした。

耐震性は、市役所本庁舎については平成18年度、市民会館は平成17年度にそれぞれ耐震診断実施済みで、震度6強以上の地震で倒壊のおそれがあり、早急に対策を講じ建物の安全性を確保することが望ましいと診断された、との報告をうけた。

次に、財務状況は、財政課より合併特例債の起債可能額、危険水域と言われる限度額、(仮称)ふるさと学習センター等に対して活用可能な基金の内容について説明があった。建設予定場所については、旧秩父セメント第一工場跡地の一部を予定している、との報告をうけた。

特別委員会として協議を重ね、1月16日に「旧秩父セメント第一

工場跡地は、将来の秩父市にとっても有効活用が見込まれる大変広大な土地であり、今後の秩父市のためにも、跡地全体が活用できるよう交渉協議を進めてもらいたい」と市長に申し入れた。

1月18日の委員会では、これまでの調査結果をもとに協議を重ねて、①市民(住民)に建替えの十分な説明責任を果たすこと。②事業費の財源確保の根拠を示し住民負担がなく、住民サービスが低下しないこと。を前提に4項目の意見を付記して、市長に申し入れをした。

2月21日の委員会で、市長より「セメント跡地利用の秩父市基本方針」が説明される予定であったが、埼玉県環境管理事務所から、セメント跡地利用に関して、「プラント建物解体時に本来は基礎の部分も一緒に解体し、産業廃棄物として処理すべきだった」との理由で利用許可が下りない。市としては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律解釈上の疑義」について、埼玉県に照会文を提出していることが説明された。



市役所本庁舎

いっぱんしつもん

職員提案制度について

市民クラブ 江田 治雄

とても効果を上げている制度である
と思っている。

問 市は行政経営に役立てようと、市民や職員からの意見を取り入れるシステムとして、「よいまちモニター」「なんでも投書箱」「職員提案制度」等の事業をしている。このような制度がどのように機能しているか。この1年間で行政によせられた、意見や提案は実績としてどの位あったか。

答 残念ながら、新秩父市では職員からの提案は皆無である。職員については、毎週各部連絡会議で部局長が2名ずつ、また隔週の幹部会議では、課長級職員が3〜6人ずつの提案を実施してきたが、ある程度の成果は上がったものの、逆に、提案することが目的となり職員の提案疲れが顕著となったため、平成20年をもって休止した。現在は、職員が任意のグループで自由に課題を研究する「自主グループ提案」を実施している。今後は職員の自主性を尊重し、随時自由なかたちで提案できるようにしていきたい。さらに、市民からの「なんでも投書箱」については、苦情等の内容が多く寄せられるが、中には貴重なご意見・ご提言も多く頂き、開かれた行政のために、



何でも投書箱

- ◎情報管理の安全対策について
- ◎学校教育現場について
- ◎大滝地域の振興策について
- ◎市の広告事業について

市政を適切かつ良好に遂行することについて

市民クラブ 富田 俊和

問 市政を適切かつ良好に遂行するには、組織を躍動的に活性化することが大事であり、それには適材適所の人事が必要であると考えるがどうか。

答 人事異動を行う上では、職員が意欲をもって自己の能力を十分に発揮することができるよう適材適所の人事配置が大変重要である。

●子どものしつけについて

問 小さい時から良いこと、悪いことの区別をきちんと教える。また、誉めたり愛情をもって叱ったりすると子どもは後々わかってくれる。そしてそのことが中学生や高校生になつての道徳心を養うものと思うが。

答 人それぞれ考え方があると思うが、大切なことであると思う。

●入札制度について

問 昨年の9月定例市議会において、最低制限価格の引き上げについて質問したが、一部しか改善が認められないので再度質問する。

答 今後とも努力するのでご理解願いたい。

●まちづくりについて

問 まちづくりは役所が事務的に進めるのではなく、地域住民とコミュニケーションを図りながら連携して行うべきと考えるが。

答 「まちづくり推進協議会」を開催し、地元の方々と連携を密にしながら進める。

秩父市の「安心・安全」をメールでお届けいたします。

「秩父市安心・安全メール」は、防災・防犯情報や防災無線放送の内容などをメール配信するサービスです。

今回の東日本大震災による「計画停電」についての情報なども配信しています。

夏にも「計画停電」が予想されます。この機会に、ぜひご利用ください。

※左のQRコードを携帯で読み取って、登録をしてください。

QRコード



いっぱんしつもん

有害鳥獣駆除と環境について

市民クラブ 竹内 勝利

問 有害鳥獣被害の窓口手続きの
状態はどうなっているか。

答 有害鳥獣被害にあった場合の
窓口については、本庁管内では農
政課が担当し、吉田・大滝・荒川
については、各総合支所地域振興
課が現在対応している。有害鳥獣
捕獲許可については環境立市推進
課で担当している。

問 年々、有害鳥獣が里山に降り
て来るようになり農作物への被害
が甚大になる今日、これらの被害
を防止する・被害を最小限に抑え
るために、各猟友会同士の繋がり
を強固にし、被害が出た時に迅速
に対応ができるネットワーク作り
を市として推進し、各猟友会に協
力を仰ぐ事はできないか。

答 猟友会の皆様の意見を極力尊
重したいと考えているので、秩父
郡市内5つの猟友会会員で構成さ
れている「秩父地区猟政連絡協議
会」にてご検討いただき、その結
果を踏まえ対応させていただきた
いと考えている。

問 狩猟資格の取得、更新の為に
精神科からの診断書が必要となる
が、費用は各病院により異なり、
この料金の一歩化も有害鳥獣捕獲

及び鳥獣の保護の観点から検討し
てもらえないか。

答 精神鑑定の診断書について、
秩父郡市医師会と交渉したいと考
えている。

問 廃棄物最終処分場について。
答 貴重な水資源の宝庫である荒
川上流域に、ふさわしくない施設
だと認識している。地域の皆さん
と共に、反対していきたいと考え
ている。



捕獲されたハクビシン

吉田地域の公共交通

日本共産党秩父市議団 新井 康一

●デマンドタクシーの運行
改善

問 基本料金での移動範囲内に
スーパがなくなり、買物に不自
由をしている。小鹿野町の停車場
所は中央病院だけがバイパス通
りのスーパ付近にも増やし、買
物ができるようにできないか。

答 利用者の需要に応じた運行が
できるよう、早急に秩父市地域公
共交通会議にはかり、バイパス付
近でも乗降できるようにしたい。

問 利用状況は700円の利用者が
圧倒的に多い。料金の引き下げが
できないか。また前日予約のみだ
が、午後便は午前の予約で運行で
きるように改善を望みたい。

答 料金は地域公共交通会議で他
の交通機関との話し合いで決める
ことなので早急な改善は難しい。

●廃止されたバス路線の復活

問 元氣村・皆野間、小鹿野・皆
野間のバス路線が廃止され、熊谷
方面に行く人は不便になった。ま
た、上の原方面の人はバス路線が
無くなって不自由な思いをしてい
る。復活の見通しはどうなのか。

答 定住自立圏構想の公共交通網

の再編の中で引続き検討したい。

●産業廃棄物最終処分場の
問題

問 現在計画中の産廃業者は所在
地に看板も無く電話も通じない。
市はこういう状況を把握して受理
したのか。また、別の産廃計画に
ついて市はつかんでいるか。

答 書類としては規則の規定を満
たしていた。別の産廃計画につい
ては川越の業者が産廃処分場を計
画していると話していた。市とし
ては、環境管理事務所なども連
絡を密にし、注視していきたい。



デマンドタクシー

定住自立圏構想における空き家バンクについて

市民クラブ 木村 隆彦

問 空き家バンクの現状について。

答 2月25日にホームページを公開した。現在の空き家の登録件数は少ないが、事務局や市の窓口には問い合わせが毎日のように届いている。

問 空き家バンクの今後について。

答 ホームページで物件情報を公開するだけでなく秩父地域に移住者が増えるように物件の見学会や相談会の開催・お試し居住などを視野に入れて考えていきたい。

●秩父市の環境基本計画について

問 市長の考えを反映した環境基本計画を作る必要性について。

答 現在の基本計画は平成18年に策定したものである。「環境を守る」ことに主眼をおいた行政から守ることの重要性を踏まえた上で積極的に「環境を創造」する時代になったと考える。森を元気に、荒川を清流にすることを目標として併せて地域経済の発展を目指す「環境立市秩父」こそ、当市の進むべき道である。計画については必要に応じて修正を行なう。

●小中学校のホームページについて

問 ホームページの意義について。

答 ホームページは、それぞれの学校の情報を保護者や地域の皆様に積極的に配信することにより、学校と地域が一体となった、しかも、開かれた学校づくりに寄与するものと考えられる。しかしながら、学校間で更新頻度の差があるが、新着情報などを工夫し、個性的なものになるよう目指していく。



空き家バンクのチラシ

◎SNSちっちについて

「漢方の里秩父」新地場産業の立ち上げ!

新井 重一郎

問 高齢化社会の到来により漢方薬が見直され、世界中でその需要が着実に伸びている。少子高齢化で担い手不足の耕作放棄地及び山麓を利用し、漢方薬草を柱とする作物栽培をとうして生態系重視の里山景観整備と観光資源化までを含めた新産業基盤を確立し、秩父に漢方薬製造工場を立ち上げる。

① 市内における遊休農地の現状は。②市による遊休農地情報の収集とデータベース化はできないか。③現在、吉田久長地区約2町歩を中心にスタートした「漢方の里秩父」新産業へ市の協力を。④漢方薬製造のために地域活性化総合特区を申請したい。市の協力を。

答 ①昨年の調査の結果、比較的に、農地として再生可能な耕作放棄地は約69町歩。②国は農地バンク制度を検討している。県も同様な試みを始めるとのこと。市は遊休農地を貸してもよいという人のデータを保管し、借りたい人に紹介サービスを行っている。③内容を吟味し、できることについて協力したい。



漢方薬草植え付け準備

●木材利用促進法（法律第36号）を有効に活用しよう

問 ①国の基本方針に即して市の方針の作成を早急に。②交付金（地域材利用、1立法メートル当たり5万円）、基金（木造公共施設、1平方メートル当たり13万5千円の利用可能）の申請を。

答 ①早急に作製する。②補助金の有効活用をはかる。

いっぱんしつもん

秩父用水土地改良区について

市民クラブ 荒船 功

問 この用水は、水源が横瀬町
 芦ヶ久保地区から姿の池を経て牧
 水の滝より秩父市に入り、原谷地
 区は聖神社付近まで、水田耕作に
 使用されていた。現在は水田耕作
 者が高齢化で減少し、用水の維持
 管理が難しい状況になるのではと
 心配する声がある。以前は市の組
 織で事務局を担当していたようだ
 が、今後の維持管理は。

答 この用水は、昭和30年に供給
 が開始されて、北は黒谷へ支線は
 日野田町を通り中村町へ、また市
 内から大畑町へと総延長12,0
 00mである。

現在、法人格である「埼玉県秩
 父用水土地改良区」が用水の維持
 管理をしている。組合員は秩父市
 43戸、横瀬町57戸であるが、高齢
 化、後継者不足で年々減少傾向に
 ある。施設の老朽化など様々な問
 題を抱えており、指導機関の秩父
 農林振興センターと改良区との連
 携を図るのに市も協力していく。

●農業振興について

問 秩父市独自の耕作放棄地対策
 は。
答 「遊休農地耕うん作業補助金」



牧水の滝から秩父市内へ流入

制度がある。独自の事業として栃
 谷、下吉田地区はサルビアやコス
 モスを植栽。吉田、大田、高篠、
 荒川地区に、ヘアリーベッチと呼
 ばれる蜂蜜及び緑肥になる景観作
 物を植栽。新たな特産物の開発実
 験とし、吉田地区に砂糖大根（糖
 蜜）を栽培している。

国や県の補助金制度の情報

彩政会 新井 豪

問 それらの情報について、交付
 対象が市町村の場合は情報が自動
 的に下りてくるが、対象が民間の
 場合は情報格差がある。国・県・
 市の補助制度を一括して情報を網
 羅し、企業や団体に情報提供でき
 る窓口、担当者の設置が必要と考
 える。

答 久喜市長が新設する「企業支
 援センター」において、それらの
 情報を集約し、分かり易い形で企
 業支援や企業誘致に活用していく。

●夜祭ユネスコ無形文化遺産登録

問 正式に登録が決定した場合、
 どの様なメリットがあるのか。

答 観光振興として換え難い知名
 度を得られ、祭りを支える人々の
 誇りとなつて、伝統を守る意識が
 向上する。

●記念行事を検討するのか。

答 来年の「笠鉦と屋台、国の文
 化財指定50周年」と合わせた記念
 行事を検討したい。

問 以前「夜祭の開催日程変更」
 という伝統を無視する事を検討し
 た市として、伝統を守る姿勢を改
 めて示すべき。

●「パブリックコメント」制度

答 夜祭の伝統を守る。日程変更
 は全く検討しない。

問 「パブリックコメント募集」
 と市報に掲載しても、殆どの市民
 の方が制度を知らない。

答 市報で改めて説明し、啓発チ
 ラシも作成して周知を進める。



地方への補助金を左右する国会の審議

◎市民会館・市役所建替え問題

いっばんしつもん

きめ細やかな子育て支援を！

公明党 福井貴代

問 少子化や核家族化の進展に伴い、子育て中の母親は子育ての不安や悩みを相談する相手が少なく孤立しやすい。特に0歳児を抱えた母親への支援が必要。子育てサロンの拡充はできないか。

答 原谷公民館2階の「子育てサロン」を週3日から、週4日に増やし、0歳児を抱えた母親が集まれる場の支援の拡充を検討する。

問 保険センターでの育児支援は、両親学級、乳幼児健診、育児相談、あそびの教室、すこやか相談等行っている。赤ちゃん体操や栄養相談は秩父・吉田・荒川の各保健センターで毎月行っている。今後も育児中のお母さん方のニーズにより近づくよう努力する。

問 子育て情報のメール配信ができないか。

答 研究しながら、より一層の内容充実を図っていく。

問 子ども医療費の窓口払いの廃止は可能か。

答 課題として①医師会の協力が必要。②窓口払いの廃止により、国民健康保険会計へのペナルティとして、国の調整交付金が減額される。③市民に医療費がどれだけ

かかるかという意識が薄れ、安易な受診が増え、医療費増大を招く可能性がある。大きな支援策となるが、これらの課題がクリアできない。引き続き検討する。



原谷公民館内に開設している「子育てサロン」

- ◎親学アドバイザーについて
- ◎介護ボランティア・ポイント制度の導入について
- ◎まちなかイルミネーションについて
- ◎新公会計制度について

国際森林年の取り組みについて

公明党 大久保進

問 公共建築物の木造化の推進を、どのように行っているのか。

答 公共施設の県産木材を利用した木造化・木質化を推進している。市有建築物の整備について耐火建築物等の要件が求められる大規模な建築物については、関係法令等の制限内で可能な限り建築物内外部の木質化を行い、低層の建築物については木造化による整備を図っていきたいと考えている。

●冬季観光誘致の施策について

問 冬場のミューズパークのプールを管理釣り場にできないか。

答 秩父地域は1年を通して、清流やダム湖などの自然の釣り場も多くあり、それが醍醐味の一つとなっている。県南の県営プール等で管理釣り場を行っており、同様の営業形態では利用が見込めない等の理由から、今後もプールの営業を最優先に考えている。

問 ワカサギ釣りの期間延長ができないか。

答 釣り人から期間延長の要望が多く寄せられていることから、漁業組合では埼玉県へ遊漁規則の変

更申請を提出し、本年度中に認可が下りる予定である。そうなると、9月1日から3月31日の間で解禁の期間を定めることができるようになる。

●婚活支援策について

問 秩父市でも婚活イベントを行えないか。

答 秩父市の多くの観光資源を有しており、その観光資源を利用した秩父らしい魅力のあるイベントを考えている。



川越水上公園の管理釣り場

いっぱんしつもん

（仮称）ふるさと学習センター建設に伴う諸問題

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

●市民・利用者からの意見聴取とその反映

問 市民の意見を聞く事が必要。建替えか、改修工事が良いのか、どちらに決まった場合でも意見の反映が大事。どんな方法で行うのか。

答 現在まで市民参画による（仮称）ふるさと学習センター建設懇話会での協議と提言書のほか、市民アンケート、コミュニティ懇話会、ふらっとトークでの意見交換、なんでも投書箱からご意見、ご要望等をいただいている。今後もパブリックコメントを含め皆さんからの声を計画に活かす考え。

●建設日程計画

問 当初から、平成26年3月31日までに完成しなければ合併特例債が使えないと言って、懇話会にも議会にも建設調査特別委員会に対しても急がせた。さらに、日程のごまかしがあった。合併特例債を使っても、平成27年3月31日をもって工事完了まで認められ、1年限りの継続も認められる事が明らかになり2年間、最大3年間のずれが生じた。この間に市民に知

らせ、意見聴取も可能。拙速に進めるのは改めるべきだ。考えは。

答 平成26年度までの本体工事の完成を予定している。さらに残された期間で他の事業とも調整を図り、計画的な事業の執行が求められている（平成23年3月8日時点での答弁）。



秩父宮記念市民会館

◎市立図書館の充実構想について

「企業支援センター」新設について

彩政会 小池治

問 企業支援センターの組織的位置づけ、および組織員の構成や権限をどのように考えているか。

答 市としても、企業支援は最重要政策の一つと考え組織の改正を行う。地元の既存企業への支援を優先課題とし、産業観光部の中に商工課とは独立したセンターを設置し、そのトップは「所長」というポストとなる。企業支援については市長からの命を受け、裁量権をもつて活躍できる組織としていきたい。また、市長のトップセールスにも同行し、市長直轄的な機能も併せ持てるようにしたい。

現時点では人選が決定していないが、優秀な課長職以上の職員を配置したい。

問 初年度目標と戦略について。

答 企業支援センターが本気で、機動力を持つて取り組む組織となるよう強化を図るべく活動したい。戦略として、職員の資質を高めるため研修を受けたり実践をしながら強化し、荒波に向っての船出を決意している。

●観光拡大と伝統芸能の保護育成

問 「秩父市芸能会館建設推進協議会」という秩父全域におよぶ芸能保存団体が練習場設置を求め、さらに秩父への観光客誘致をめざしており、観光政策として素晴らしいと思うがどう考えているか。

答 伝統文化や伝統行事の後継者が不足が進み、伝統芸能の保護保存が危機的状況となっている。若年の継承者育成のためにも、練習場の確保や、地域における生涯学習教育との連携が必要である。



伝統芸能「下黒谷の獅子舞」

いっばんしつもん

秩父鉄道まるごと博物館構想

彩政会 高野 宏

問 SLの定期運行や機関車・電車・貨車等を秩父駅構内に展示し、旧駅舎も移築して秩父鉄道全体を博物館として活用し、観光客の誘致に使ってはいかがか。

答 秩父鉄道は市民の通勤通学の足としてだけでなく、秩父の観光振興に大変貢献していただいている。SLや駅舎の活用については、秩父鉄道や関係機関と協議・研究していきたいと考えている。

●防犯灯の管理とLED化について

問 防犯灯の維持管理は町会にとつて大きな負担となっているが、行政の負担を増額できないか。環境に優しいLED化の考えは。

答 財政が厳しい中、各町会の皆さんには大変申し訳ないが、市の負担を増やせない。LED化については、今後、検討していきたいと思う。

●市道幹線3号永田通りについて

問 永田通りは徒歩の小中学生、自転車通勤・通学者や市立病院の通院者等で大変混雑するが、歩

道が片側で大変狭く、車の通りも多く危険である。早急な改良等の安全策を。

答 街中であり道幅を広げるのはきびしい状況であるが、歩道のバリフリー化や電柱の移動などで、歩行者安全を図れるよう検討する。



人気があるSL

- ◎子育て支援について
- ◎乳幼児の予防接種について
- ◎地域伝統文化総合活性化事業について

財政計画と庁舎・市民会館の建設

金崎 昌之

問 市税の減収・地方交付税の減額が見込まれる中で進行している市庁舎・市民会館の建設計画、市議会申し入れの「住民負担がなく、住民サービスが低下しない事を前提」とすることができると。また、「50年に一度の大事業」であることから、「まちづくり基本条例」に則り、住民投票で市民1人1人に是非を問うべきでは。

答 できるだけ住民負担にならないようにするので、執行部に任せたい。

●秩父地域の雇用状況と労働行政

問 秩父地域の雇用状況は、昨年度までのセメント事業の縮小やスパーとデパートの倒産・撤退に加えて、今年に入ってからゴルフ関連の製造業が事業所を縮小するという話もあり、大変に厳しい。こうした中、県の労働相談窓口が4月に秩父地域から無くなると聞いた。①この秩父地域の雇用実情に逆行する県の施策への対応は。②市役所内で行っている緊急・雇用労働相談の継続は。

答 ①県の労働相談窓口の県庁集

約化は、大きな影響がないよう県と調整。②緊急・雇用労働相談は当分の間、月1回を継続していく。

●吉田地区の産廃処分場問題

問 現計画の近くに新たな産廃処分場計画があり、現計画を認めれば波及的に広がる恐れがある。計画書等の不備を突くことや近隣自治体への働きかけが必要。また建設反対懸垂幕の掲出時期と場所は。懸垂幕は、しかるべき時にしかるべき所へ掲げる。



産廃処分場計画地

いっばんしつもん

子育て支援・高齢者支援に予算を、
秩父の森林を外国資本から守る運動

日本共産党秩父市議団 山中 進

問 保育に関する有利な特定財源である延長保育促進事業実施要綱に盛り込まれている補助金(国・県3分の2)を返上し、カットした。保護者に負担を押し付けるのではなく、民間保育園の延長保育に財政補償をすることこそ重要だ。

答 特定財源であるが「基本分」(市の負担分は3分の1)を支出することは市の財政負担が大きい。利用する保護者に負担を求める。

問 保健所の統計でも肺炎で亡くなる人が秩父市で、平成20年度は4番目に高い数字が示されている。75歳以上で実施されている肺炎球菌予防接種について複数回の接種が可能といわれている今日、接種年齢を65歳まで引き下げられないか。

答 65歳以上だと18,500人を超える。市で負担することについては負担額が大きくなる。医療機関との関係から1市4町で補助額について統一をはかる方向で進めている。

問 中津川の山林が外国資本によって相当な広さを購入していると聞いた。国土利用計画法では1ヘクタール未満の森林取得は届け

出不要となっているが、秩父の森林と源流を守るために、当市でも早急に調査し、国に先駆けて条例制定など、対策を講ずる必要があるのではないかと。

答 県内では確認されていないが、中津川の山林148ヘクタールが日本人名で売買されている。今後とも注視していきたい。



くわの実保育園

◎民間学童保育施設建設に補助を

真実の歴史教材映画「氷雪の門」について

上林 富夫

問 当時のソ連が日ソ中立条約を無視し蜜行行為をはたらき、日本がポツダム宣言を受託し昭和20年8月15日終戦以降も攻撃を停止せず、8月20日樺太真岡郵便局で起きた電話交換手9名の乙女たちの悲劇の物語を、真実の歴史教材として子どもたちや教育関係者等に鑑賞してもらいたいと思うが、見解をお聞きする(市民の要請により再質問)。

答 映画「氷雪の門」は日本がポツダム宣言受託後、ソ連軍の南樺太進行による日本人電話交換手9人の悲劇を描いたものと聞いている。「氷雪の門」については、史実を通して終戦後の南樺太での惨禍を知ることができる映画と考えている。上映される機会があったら関係者に紹介したいと思う。また、市立図書館でビデオ等を購入する予定については、市民から要望が多い場合には財源を考えながら検討したい。

●外国人生活保護受給者等について

問 支給内容等をお聞きする。
平成21年1月現在、19世帯、

29人で支給理由は収入手持ち金の減少、疾病による就労不能および医療費の増加等である。金額算定も日本人と全く同じで例えば夫婦60歳の2人世帯で家賃3万円のアパートに居住している想定で128,600円、他に医療費等必要な場合はこれに加算される。日本人も含めた総受給者数は437世帯594人、金額は7億9千万円(21年度決算、今年度はやや増)。



樺太に向かって建立された「氷雪の門」の塔(稚内)

◎子宮頸がんワクチン説明責任について

いっぱんしゅもん

市長の施政方針について

彩政会 金田 安生

問 事業の整理統合、民間への業務移行、職員の能力評価について具体策を聞きたい。また、バイオマス発電の民間移譲を表明しているが見通しは。

答 事業については改革推進プランを計画中である。職員の評価については既に管理職に実施している。いずれは一般職にも反映させていくことになると思う。

バイオマス発電については、平成24年には民間移譲できるよう考えている。

●縦割り組織の弊害と対策について

問 公共の建物の延命化を図るために、横断的組織で一括管理すれば、民間と同様に耐久年数を延ばすことが可能になると思うが。

答 管理台帳を作成すると共に、業務を外部委託することも視野に検討したい。

問 施設申込み等で「窓口をタライ回し」との苦情が多い。これも縦割りの弊害と思うが。

答 職員への指導を徹底したい。



民間移譲が検討されているバイオマス発電所

●有害鳥獣対策について

問 鳥獣被害は拡大する一方で、地域農業の崩壊に繋がる事態と思う。抜本的な対策は。

答 県と一体となって色々と手立てを考えている。例えば山と農地の間に緩衝帯を設けることも検討している。いずれにしても大変な事態と認識はしている。

●人事案件●

秩父市公平委員会委員の選任、秩父市固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦および秩父市教育委員会委員の任命について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市公平委員会委員

米持 徳子(荒川上田野)

秩父市固定資産評価審査委員会委員

内田 武(下影森)

風間 敏夫(蔭田)

宮川 浩司(久那)

黒澤 千佳(上宮地町)

人権擁護委員候補者

井原 映子(大野原)

加藤 武男(日野田町)

秩父市教育委員会委員

前堅 進一(番場町)

秩父市議会は吉田総合支所の2、3階に移転しました6月定例会について(お知らせ)

「東日本大震災」の影響により、市役所本庁舎および議場が使用できなくなったため、秩父市議会は吉田総合支所の2、3階に移転しました。

平成23年6月定例会は、6月7日(火)に開会する予定ですが、会場等の都合により、開会日以外の日程は、今のところ未定です。5月下旬には6月定例会の日程が内定する予定ですので、議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局(吉田総合支所2階)
秩父市下吉田6585-2 ☎72-2122

編集後記

東日本巨大地震は、3月定例会の最中に発生しました。最終日の議会は、本庁舎の議場が使用できずに歴史文化伝承館にて開催されました。市のスタッフのお陰で無事に終了することができ、感謝申し上げます。

現在、議会では開かれた議会を目指して議会改革を行っています。そのひとつとして、6月の定例会より、インターネット録画配信が行われる予定です。今までは、TV秩父で議会の一部が放送されていました。今後は、インターネットが接続可能な地域において、簡単に自宅で一般質問を含めた議会全容が視聴できることになります。議員も、今まで以上に緊張が高まるかもしれません。今後も、議会に対し皆様方のご意見をお寄せ下さい。

平成23年3月 木村隆彦記

編集委員

委員長 江田 治雄
副委員長 新井 豪
委員 上林 富彦
委員 木村 隆彦
委員 山久 進
委員 大久保 進